



# しののめYMCAこども園 園だより

2017年度2月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。  
これがわたしの掟である。

2月の聖句 「愛は、すべてを完成させるきずなです」

コロサイの信徒への手紙 3章14節

3学期も無事にスタートし、各学年まとめの時期に入ってきました。

同時に、園児一人ひとりが何かひとつ興味や関心を持てるようなものを見つけて、その事に一生懸命取り組むことで「自信」をつけて、進級や進学ができるような保育展開をしていきたいと思っております。

さて、日頃の子育ての中で、子どもたちの成長に驚かされる事が多々あるのではないのでしょうか。こども園でもそうですが、ご家庭においても、その成長ぶりを実感される事が多くあると思います。『小さな赤ちゃんだったのに・・・』これは卒園式で歌う歌詞のワンフレーズです。生まれる前には、男の子が欲しい！女の子が欲しい！とあれやこれやと期待や願いを抱きますが、そのような願いや期待は、生まれた瞬間に「無事に生まれてきてくれて良かった！ありがとう！」の感謝の気持ちに変わります。

子どもたち一人ひとりがこれから自信を持って羽ばたいていくためには、「できた！」「やればできる！」というような成功体験が絶対的に必要となります。また同様に「できなかった・・・」と言う失敗体験も必要で、その事から「悔しい！」「もう一度やってみよう！」と言う気持ちや、乗り越えていく「力」や「エネルギー」が生み出されると思います。

生まれた瞬間から私たち大人や親は、大きな期待や願い、夢を子どもに託しています。その期待や願い、夢がいっぱい詰まった荷物を背負いながら子どもは歩いていくのです。大切な事は、そのようないっぱい詰まった荷物を背負わせて無理をさせるのではなく、より多くの「成功体験」をさせていく事であると思っております。その結果、子どもたちには「できた！」「やればできる！」「失敗しても大丈夫！」「もう一度やってみよう！」という『自信』や『諦めない力』が育まれると思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

園長 堀江和広